

より當るゝ八代親氏氏忠酒井忠次家次
忠勝忠當忠義忠貞忠壽是なり永禄七甲
子六月廿一日忠次三洲吉田城初め酒井
因清代天正十八年庚寅八月十九日下総
碓井城三万石酒井慶長九甲辰十二月家次
上野城三万石酒井同清代元禄二年
丙辰十月十五日越後守田城十方石酒井
元和五年乙未正月十一日信州松城十方石清
持領同清代松城川中より当城へ移さる
家次よりこのを討めり文明十一年己

亥七月世良田二弟三弟信光安祥の城をと
らんとて躍を佈り西野より出て是を躍とり
む款を見物のめ出りて是にお入て難
なく安祥の城をとり其勢をとりての初
酒井左衛門尉氏忠同右兄親重像の事故
丸盤より葵を改め形之義鼎のことを上
は三種の香をさして引渡と一哭一やされ
り信光のめりし御軍なり酒井はけこと
く丸は三葵を改め付よとあり果して此後
利なりりれ酒井は三葵を改め故とてそ